

第5回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年11月26日(日) 13:30~16:30 【参加：23人】

★「公共施設に関する提言」を作成しました！

8月から開催している公共施設のあり方検討市民ワーキングもついに今回で最終回！これまで全5回にわたり展開された幅広い議論を、参加した市民全員の手でまとめあげていく作業は至難を極め、みなさんの市や公共施設に対する熱い想いが飛び交って、ワーキングの盛り上がりも最高潮に達しました！！

これまでのように意見をただ言い合うだけでなく、参加者全員が提案をまとめることをしっかりと意識して真剣に取り組む姿、会場全体の雰囲気は、まさに「市民参加のまちづくり」の現場そのものでした！



《プログラム》

あいさつと振り返り	13:30
グループワーク①	13:45
提言内容案の検証	
グループワーク②	15:00
公共施設に関する提言の作成	
結果発表・総評	16:10
お礼・記念撮影	16:25

★ グループワークの内容

前回（第4回）のワーキングで、市が考える「公共施設に関する基本方針」に倣い、市民のみなさんでも考えてみた結果を踏まえ、名古屋大学恒川ゼミの学生と事務局が4つのテーマを再編し、素案として作成。前半のワーキングでは、その4つの素案について、「内容の検証」と、「足りない視点」がないか、知恵を絞って議論しました。



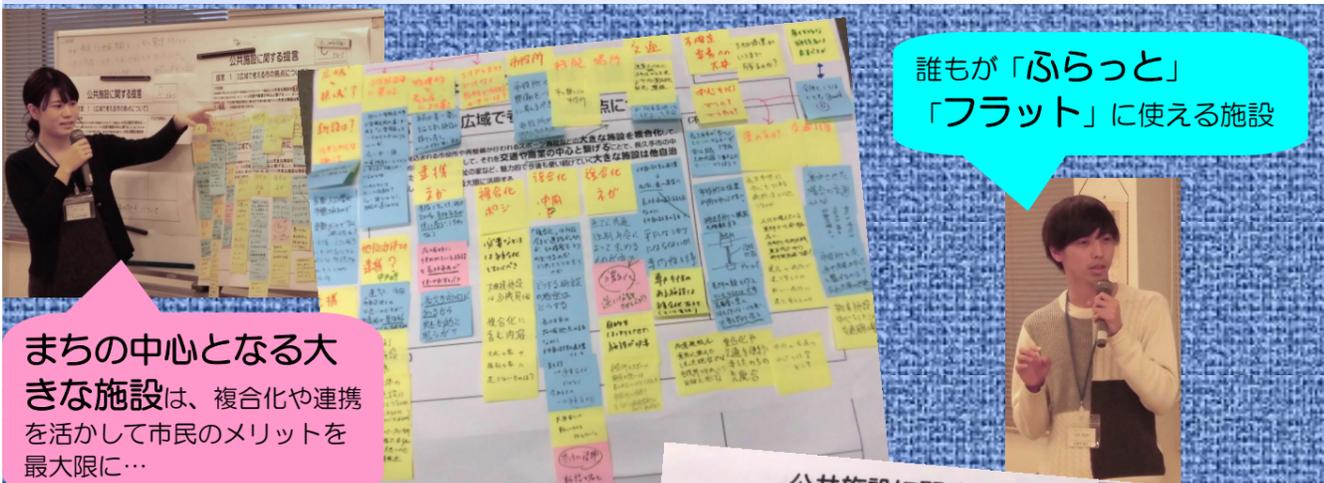
- 広域で考える市の拠点**
 - 複合化、交通、自治体連携 ...
- 狭域で考える市の拠点**
 - 機能と立地の整理、施設間連携、気軽に利用できる ...
- 市民の使い勝手の向上**
 - 施設管理の一元化、利用しやすさ ...
- 施設に対する行政運営**
 - 施設の整備方針、民間施設の活用、大学の活用 ...



後半は、それぞれ自分の関心があるテーマごとに集まり、これまでの意見をまとめて、「公共施設に関する提言」を作成する作業を行いました。各班それぞれの手法で、これまで出た意見を丁寧に紡ぎながら、公共施設のあり方を考える上で、その論点の核を見いだしていきました。

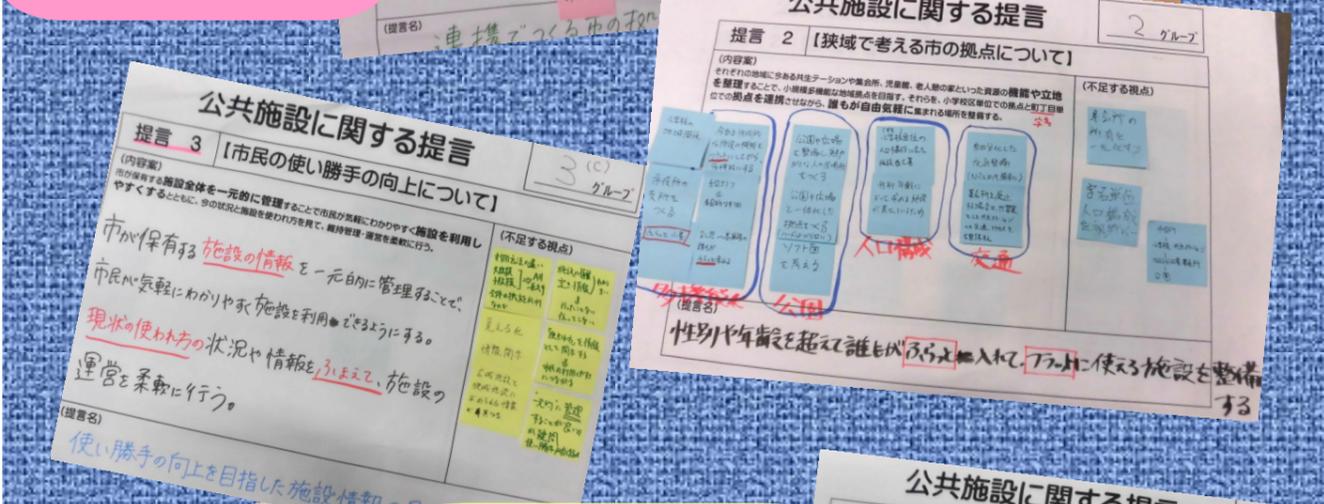


★グループワーク結果

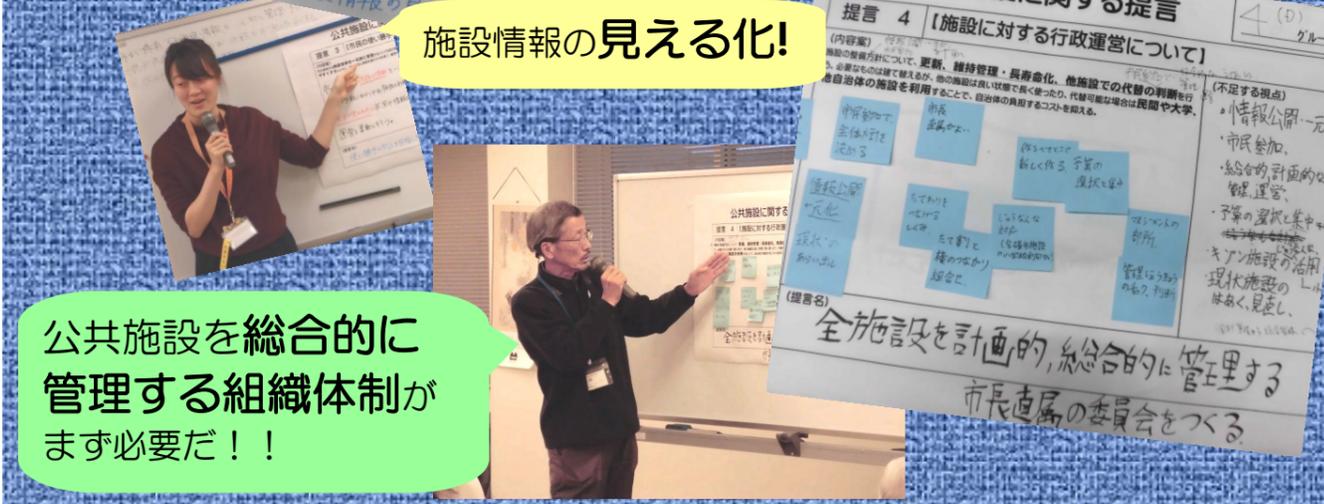


まちの中心となる大きな施設は、複合化や連携を活かして市民のメリットを最大限に…

誰もが「ふらっと」「フラット」に使える施設



施設情報の見える化!



公共施設を総合的に管理する組織体制がまず必要だ!!

※みなさんが検討したそれぞれの提言内容は、名古屋大学恒川研究室監修のもと最終的にとりまとめ、市公共施設等総合管理計画更新版の作成にあたり、参考意見とさせていただきます。

★全てのワーキングを終えて…（総評）

このワーキングを通じて、皆さんが公共施設全体のこと考えるきっかけになっただけでなく、施設ごとの様々な課題や現状をご理解されたと思います。

また、具体的な課題解決については、今後施設ごとに考えていく必要があるでしょう。



(事務局から)
今後みなさんの意見を踏まえて、公共施設等総合管理計画を見直していきませんが、次は、具体的に「市役所」にテーマを絞ったワークショップの開催も予定していますので、皆さん積極的にご参加ください。

おつかれさまでした!

